

関係者各位

関西電力大飯発電所3、4号機に係る情報がありましたのでお知らせします。

本日(7/25・水)14時43分、大飯発電所4号機の中央制御室で、非常用ディーゼル発電機に係る警報(4号機安全系CC(コントロールセンター)負荷トリップ)が発生した件の続報です。

本日、15時30分から非常用ディーゼル発電機(A)の健全性確認試験を実施し、16時12分、正常に運転できることが確認できました。

従って、4号機の運転を継続しても安全上の問題はありません。

ターニング装置については、引き続き、原因調査を行う予定です。

(以下、第1報の内容)

-----  
本日14時43分、大飯発電所4号機の中央制御室で、非常用ディーゼル発電機ターニング装置に係る警報(4号機安全系CC(コントロールセンター)負荷トリップ)が発生しました。

現在、非常用ディーゼル発電機(A)は自動起動できるように復帰済みです。

本警報は、7月16日(月)にも発生しています。

警報は、前回と同様、大飯4号機の非常用ディーゼル発電機(A)のターニング作業※のため、ターニングモータを起動した際、モータの過負荷が生じたことにより発生したものと推定しています。

※非常用DGの停止中において、定期的に主軸を別のモータを用いて回転させる作業。

ターニング作業については、7月16日の警報発生後、18日、20日、23日にも実施していますが、その際には問題なく作業が行われ、警報は発生していません。

ターニング装置は、非常用ディーゼル発電機の自動起動の際に使用するものではありませんが、本日夕方を目途に、非常用ディーゼル発電機(A)の機能に問題がないか健全性確認を行う予定です。

外部への放射性物質による影響はありません。

現地保安検査官が現場確認を行っています。

以上